

LS-8200SD の測定可能時間について

■ はじめに

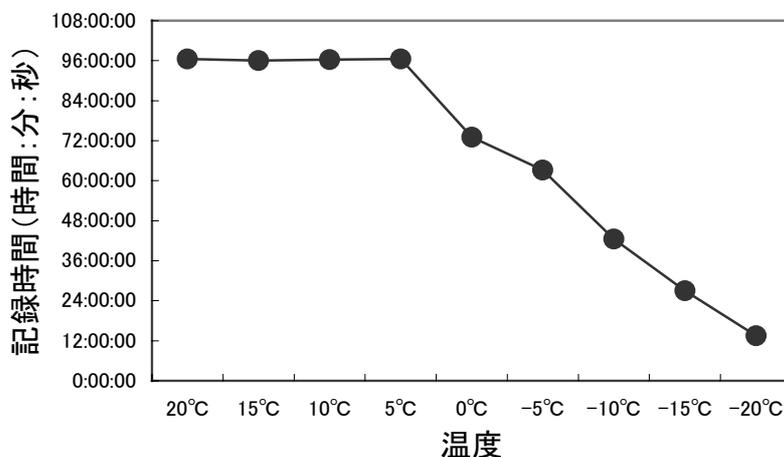
LS-8200SD の測定可能時間には

- (1) メモリによる制約
- (2) 電池による制約

の2点があります。(詳細は「LS-8200SD ユーザーズマニュアル 第3版」をご参照ください。)

このうち「(2)電池による制約」に関しては、周囲温度による減衰の影響があるとマニュアルに記載しておりましたが、具体的な影響についてのデータがありませんでした。今回、恒温槽を利用して 20℃～-20℃の環境下で LS-8200SD を連続記録させたときの記録時間を調査しましたのでご報告します。

■ 結果



グラフは 125Hz、96 時間連続観測のスケジュール設定時、3 台の LS-8200SD がデータを記録した時間の平均値です。*

この結果から、LS-8200SD の測定可能時間について、以下のことがわかります。

- ・ 125Hz サンプルング時、0℃以下の環境においては、メモリ容量からの制約（96 時間）よりも、低温による電池の減衰の影響が先にきてしまう。
- ・ 0℃以下では低温になるに従って記録可能時間は短くなる。

※乾電池は「Panasonic 製アルカリ乾電池単 1 型 LR20XJ」を使用。

メーカー・型番により、また同型番でも製造後の経過日数により変動があることはご了承ください。

以上

本書は一定の条件下での試験結果を説明するものであり、これをもって LS-8200SD の稼動時間を保証するものではありません。ご注意ください。